

就学前施設再編説明会（ささはら幼稚園）

場 所：ささはら幼稚園

日 時：平成30年5月16日（火）18時30分～20時30分

参加者：18名（就学前児童保護者3名、その他15名）

質疑等：

質問：今日初めて地域で説明会をしているため、初めて来た人もいる。経過を教えてください。

回答：公立幼稚園の適正規模・適正配置については長年議論しており、平成20年・平成22年・平成26年と学校教育審議会を設置してきました。また、平成26年学校教育審議会から答申を受け、平成27年から28年にかけて市内18カ所で『幼児教育のあり方を考える市民講座』を実施し、皆様のご意見を伺ってきました。そのような中、昨年8月に計画案を公表したところですが、世界的にも幼児教育の重要性が認識されたことから、公立幼稚園だけではなく、公私立、施設の種別を超えて幼児教育の質の向上を図っていこうと考えております。

質問：開園時期については今後検討すると言っているが、これは決定なのか。

回答：関連条例の成立により、新設園及び閉園となる園は決定しています。ただし、条例の施行日は規則で定めることとなっており、時期は決定していない状況ですが、現在、認定こども園の整備を進めており、平成32年度には完成する予定です。その時期に再編しなければ、今も1号認定（幼稚園部分）の定員が供給過剰な中、更に1園当たりの園児数が減少することも想定されるため、計画どおり平成32年度で行うことが適切であると考えています。

質問：閉園について、いつ、どうなるのかをはっきりしてほしい。決まらなければ保護者は園選択ができず、不安である。閉園が決まればPTAも閉園に向けて動いていきたい。

回答：今回の説明会だけでなく、窓口やお電話などでも、同様の意見を多数いただいております。適時適切に判断してまいります。

質問：平成31年度の閉園が決まっているのならば、平成31年度の募集を止めてほしい。

回答：閉園予定の園においても、最後の年度まで4歳児・5歳児によるクラス

設定を行い、異年齢による教育を行い、幼児教育の充実を図っていきたいと考え、4歳児の募集停止は行わないこととしています。

質問：公立幼稚園に子どもが入園しなくなった根本的理由は何か。伊丹市は人口を増やそうとしているのに、保育所や幼稚園を減らすことは良い事ではない。伊丹を住みたいまちにしようとするならば、公立を良くすれば良いのではないか。

回答：就労する保護者が増加し、保育所ニーズが高まっています。また、3年保育や預かり保育を実施してこなかった点においても、保護者のニーズとずれが生じてきたことも要因だと考えます。公立幼稚園の数は減少しますが、受け入れ人数は、むしろ増やしています。公立幼稚園のみならず、保育所や認定こども園等、市全体で幼児教育の質の向上を図っていくことが必要だと考えます。

質問：南西部こども園の定員265人の根拠を教えてください。敷地面積がとても狭く定員が多すぎる。子どもの安全確保はどうするのか。先生は補充されるのか。南西部こども園・南部こども園・神津こども園の敷地面積を教えてください。近隣の私立幼稚園の状況から定員は問題ないと思う。

回答：集団教育の環境を確保するため、幼稚園部分3歳児が1クラス25人定員、4歳児が1クラス30人定員で2クラスの60人、5歳児が1クラス35人定員で2クラスの70人、合計155人です。西保育所から移転する保育所部分が0歳児11人、1・2歳児が各18人、3～5歳児が各21人で、合計110人となります。こども園の整備にあたっては、国の基準に基づき子ども1人当たりの保育室面積の確保や避難経路や防火対策などを行います。また、265人に対応した職員を適正に配置しますので、災害等の場合には平素から訓練等を行うことにより、安全を確保していきます。敷地面積については、南西部こども園が約2300㎡、南部こども園が約3500㎡、神津こども園は約3100㎡です。

質問：南西部こども園を建設しても予定人数を満たせないことも考えられるのか。1号認定、2号認定の定員を変えることはできるのか。

回答：制度上は、1号認定と2号認定の総枠の範囲内で受け入れが可能です。

質問：神津こども園が開園した結果、現状やプラス面、課題を出してほしい。学校教育の幼稚園と児童福祉施設の保育所が一緒になり、想定していたとおり出来ているのか。

回答：神津こども園の現状としては、3歳児保育の実施、預かり保育の実施、給食の実施、0歳児～5歳児までの子どもが集う異年齢の関わりの広がりなど、子どもにとって多くのプラス面があると捉えています。また、1号認定の保護者の方が年度途中で2号認定に変わられるケースもありますが、子どものクラスや担任などの変更もなく、従来の形のまま保育教育を継続できています。課題については、「こども園になったから・・・」といったものではなく、どちらかという日々の運営上の課題であり、「学校評価」の中で委員の皆様と共に、課題の抽出と解決に向けて検討しております。ホームページにも記載しておりますので是非ご覧ください。

質問：こども園で、幼稚園所属の子どもと保育所所属の子ども達の過ごす時間については、どのように対応しているのか。幼稚園には夏休みがあるが、保育所には夏休みがない。保育所所属の子どもが夏休みを利用し運動会の準備を進めておれば、幼稚園所属の子どもは出来ない。幼稚園所属の子どもの教育が遅れるのではないか。

回答：幼稚園籍（1号認定）は、従来の幼稚園と同じ保育時間です。保育所籍（2号認定）の子どもは、保育所と同じ保育時間です。幼稚園籍と保育所籍の子どもは混合のクラスであり、午前は同じ保育を受けています。午後については、幼稚園籍（1号認定）の子どもについては「家庭教育」と捉えています。保育所籍（2号認定）の子どもについては、夏の開放的な遊びや水に慣れ親しむ、といった保育のねらいを持ち、家庭保育に代わる保育を実施しています。運動会の練習については、運動会前1か月に取り組むのではなく、4月からの日々の遊びの中で子どもが主体性を持って取り組めるように工夫しています。

質問：住宅密集地に車や自転車が一齐に集まることに対し、周辺住民は気にしている。交通渋滞や安全対策を考えてほしい。

回答：保育所籍の子どもと幼稚園籍の子どもは、時間差で登園することとなります。定員265人が一齐に登園することはありません。周辺環境との調和については十分に配慮していきたいと考えています。

質問：1クラス定員20名が良いと何度も聞いたが、ヨーロッパや過疎地はどうなのか。

回答：少人数、多人数それぞれに良さがあり、どちらが悪いというものではなく、実態に応じて何が必要かを考える必要があります。

質問：南西部こども園の職員数は何人か。こども園になると、職員はすべての子ども・親の顔が覚えられるのか。保護者も先生のことを覚えられない。職員同士の十分な意思疎通は難しいのではないか。

回答：保護者は先生が多くなることを気にされていません。園長や自分の子どもと深く関わる先生とコンタクトが取れていれば不安はないと聞いています。また、南西部こども園の職員数は50人程度と考えています。子どもと密に関わる担任や関わりのある学年の先生は必ず覚えます。また園長や副園長も子どもと保護者の顔を覚え、安全面にも配慮できるようにします。神津こども園でも、適時、ミーティングを行うことで意思疎通を図っています。

質問：周辺住民すべてが賛成し、こども園を建設しようとしているのか。地域から幼稚園やPTAに苦情が来ることはないのか。老人施設ができると噂があった時も反対した。

回答：周辺住民の方々がすべて賛成されているかどうかは把握しておりませんが、建設にあたっては周辺住民のご意見をお聞きしながら進めてまいります。

質問：改革の内容をもっとわかりやすく示してほしい。3歳児がプレ保育の対象としている公立幼稚園は遅い。私立の中には2歳児のプレ保育が始まっている。預かり保育の金額も高いため、時間や金額の根拠を示してほしい。

回答：私立幼稚園においては、2歳児のプレ保育を実施している園もあります。公立幼稚園においては、入園するまでの1年間、3歳児の居場所が欲しいというご意見からプレ保育を実施することとなりました。預かり保育の時間は、神津こども園1号の預かり保育と合せています。預かり保育料については、私立幼稚園・神津こども園の預かり保育料の状況から、1時間あたり200円として設定しました。

質問：神津こども園は園庭が広いのか。運動会はどこで行うのか。

回答：運動会は神津小学校の校庭で行っています。

質問：廃園となる後はどうなるのか。

回答：行財政運営の基本として、これまでから他に活用できない場合には売却としていますが、待機児童の解消のため民間保育所を誘致することや、

児童クラブに活用するなど、課題となっている地域においては他の用途に活用することも視野に入れていきます。

質問：障がいのある子どもの対応はどうか。

回答：園児募集において、特別支援の幼児については身体障害者手帳等の保持されている幼児など一定の基準で抽選の免除を行うことを考えています。

質問：今後、人口が減っていけば、さらなる再編があるのか。

回答：いつの時点かはわかりませんが、子どもの数に応じて再編が必要になるものと考えています。

質問：ニーズ調査をして廃園時期を決めるという付帯決議になっている。どのようなニーズ調査をしているのか。将来の見通しを示してほしい。

回答：平成32年度に子ども・子育て支援計画の見直しを行うこととしており、その過程においてニーズ調査を実施する予定としています。

質問：現役世代の保護者の意見をもっと聞けるよう、時間帯など話し合う場を工夫してほしい。今日の意見を取り入れて変更できるところは変更してほしい。

回答：検討します。